

商品名 アトモキシチンカプセル5mg「アメル」 医薬品基本情報

薬効	1179 その他の精神神経用剤	一般名	アトモキシチン塩酸塩カプセル
英名	Atomoxetine AMEL	剤型	カプセル
薬価	44.50	規格	5mg 1カプセル
メーカー	共和薬品	毒劇区分	(劇)

アトモキシチンカプセル5mg「アメル」の効能・効果

AD／HD、注意欠陥／多動性障害

アトモキシチンカプセル5mg「アメル」の使用制限等

1. 本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、MAO阻害剤投与中、MAO阻害剤投与中止後2週間以内、重篤な心血管障害、褐色細胞腫又はその既往、パラガングリオーマ又はその既往、閉塞隅角緑内障	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. 遺伝的にCYP2D6の活性が欠損、CYP2D6阻害作用を有する薬剤投与中	記載場所	用法・用量
	注意レベル	慎重投与
3. 心血管障害、遺伝的にCYP2D6の活性が欠損	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	慎重投与
4. 中等度＜Child－Pugh分類B＞の肝機能障害、重度＜Child－Pugh分類C＞の肝機能障害	記載場所	用法・用量
	注意レベル	注意
5. 通常量の本剤を服用していた精神病性障害の既往歴がない、通常量の本剤を服用していた躁病の既往歴がない、心臓に重篤ではないが異常又はその恐れ・疑い、痙攣発作又はその既往、QT延長又はその既往、心疾患又はその既往、QT延長の家族歴、先天性QT延長症候群、高血圧又はその既往、脳血管障害又はその既往、起立性低血圧の既往、精神病性障害、双極性障害、精神系疾患、排尿困難、腎機能障害、肝機能障害	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

アトモキシチンカプセル5mg「アメル」の副作用等

1. 肝機能検査値上昇、肝機能障害、黄疸、肝不全、血管神経性浮腫、蕁麻疹、アナフィラキシー	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明

2.	悪心、食欲減退、腹痛、嘔吐、便秘、口渇、頭痛、傾眠、浮動性めまい、不眠症、動悸、体重減少	記載場所	その他の副作用
3.	鼓腸、びくびく感、レイノー現象、潮紅、持続勃起、勃起時疼痛、射精不能、精巣痛、オルガズム異常、尿意切迫、散瞳	記載場所	その他の副作用
		頻度	頻度不明
4.	下痢、消化不良、口内乾燥、体位性めまい、睡眠障害、易刺激性、不快気分、早朝覚醒型不眠症、気分変化、振戦、抑うつ気分、錯感覚、不安、感覚鈍麻、幻覚、感覚障害、うつ病、攻撃性、リビドー減退、チック、激越、落ち着きのなさ、過敏症、そう痒症、発疹、蕁麻疹、頻脈、血圧上昇、心拍数増加、心電図QT延長、失神、多汗症、皮膚炎、排尿困難、勃起不全、不規則月経、生殖器痛、尿閉、月経困難症、射精障害、前立腺炎、頻尿、胸痛、無力症、疲労、ほてり、悪寒、味覚異常、結膜炎、胸部不快感、末梢冷感、冷感、筋痙縮	記載場所	その他の副作用
		頻度	5%未満
5.	血圧上昇＜収縮期20mmHg以上・拡張期15mmHg以上＞、心拍数増加＜20bpm以上＞	記載場所	使用上の注意
6.	急激な血圧上昇、急激な心拍数増加、散瞳、自殺念慮、自殺関連行動、幻覚、精神病性症状、躁病症状、血圧に影響、心拍数に影響、体重増加抑制、成長遅延、痙攣、QT延長、傾眠、興奮、運動亢進、異常行動、消化器症状、頻脈、口渇、浮動性めまい、振戦、血圧上昇、死亡、性成熟遅延、精巣上体尾部重量低下、精巣上体中精子数減少、生存胎仔数減少、早期吸収胚増加、総頸動脈起始異常、鎖骨下動脈欠損、摂餌量低下、母体毒性	記載場所	使用上の注意
		頻度	頻度不明
7.	自殺念慮、攻撃的行動、敵意	記載場所	使用上の注意
		頻度	5%未満

アトモセチンカプセル5mg「アメル」の相互作用

1. 薬剤名等：MAO阻害剤投与中止後2週間以内

発現事象	-	投与条件	-
理由・原因	-	指示	禁止

2. 薬剤名等：MAO阻害剤

発現事象	両薬剤の作用が増強	投与条件	-
理由・原因	脳内モノアミン濃度が高まる	指示	禁止

3. 薬剤名等：CYP2D6阻害剤

発現事象	本剤の血中濃度が上昇	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤のCYP2D6阻害作用	指示	慎重投与

4. 薬剤名等：サルブタモール硫酸塩

発現事象	心拍数・血圧が上昇	投与条件	-
理由・原因	心血管系への作用を増強	指示	注意

5. 薬剤名等： β -受容体刺激剤

発現事象	心拍数・血圧上昇作用が増強
------	---------------

投与条件	-
------	---

理由・原因	これらの薬剤の心血管系への作用を増強
-------	--------------------

指示	注意
----	----

6. 薬剤名等：昇圧作用を有する薬剤

発現事象	血圧上昇作用が増強
------	-----------

投与条件	-
------	---

理由・原因	これらの薬剤の血圧への作用に影響
-------	------------------

指示	注意
----	----

7. 薬剤名等：ノルアドレナリンに影響する薬剤

発現事象	作用が増強
------	-------

投与条件	-
------	---

理由・原因	これらの薬剤のノルアドレナリンへの作用を相加的又は相乗的に増強
-------	---------------------------------

指示	注意
----	----

